

各 位

会 社 名 株式会社エーアイ
 代表者名 代表取締役 吉田 大介
 (コード: 4388 東証マザーズ)
 問合せ先 執行役員管理グループ統括 前田 忠臣
 (TEL. 03-6801-8402)

**2020年3月期 通期業績予想および配当予想の修正ならびに
 特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ**

当社は、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期業績予想、ならびに2019年11月11日に公表いたしました1株当たり配当予想につき、下記のとおり修正するとともに、2020年3月期において下記のとおり特別損失（投資有価証券評価損）を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）業績予想

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 800	百万円 220	百万円 220	百万円 160	円 銭 32.84
今回修正予想（B）	819	273	273	172	34.12
増 減 額（B－A）	+19	+53	+53	+12	
増 減 率（％）	+2.4	+24.4	+24.2	+7.9	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	737	211	202	150	30.84

（2）修正の理由

当事業年度の音声合成事業は、コンシューマー向け製品の売上が90百万円（計画比75.3%）と苦戦しましたが、法人向け製品の売上が499百万円（計画比110.7%）、法人向けサービスの売上が229百万円（計画比100.0%）と順調に推移したことから、売上高は当初業績予想を上回る見込みとなりました。

また、受託開発で発生を見込んでいた業務委託費や外注費を社内体制で賄ったこと等により、原価の発生が減少し、利益増に寄与いたしました。「3. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上」に記載の投資有価証券評価損45百万円を計上したものの、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、当初業績予想を上回る見込みとなりました。

当事業年度において、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社の業績に与える影響は、軽微でありました。

2. 2020年3月期 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2019年11月11日発表)		6.00円	6.00円
今 回 修 正 予 想		7.00円	7.00円
当 期 実 績	0.00円		
前 期 実 績 (2019年3月期)	0.00円	8.00円	8.00円

(注) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 記念配当3円00銭

(2) 修正の理由

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2020年3月期(第17期)の剰余金の配当予想につきましては、上記の基本方針と2020年3月期通期業績予想の修正を勘案し、直近の期末配当予想1株につき6円から1円増配し、1株につき7円に修正いたします。

3. 特別損失(投資有価証券投資損失)の計上

当社が保有する投資有価証券について、超過収益力が減少していると判断いたしました。その結果、減少した超過収益力を反映した実質価額が著しく低下した判定結果となったため、減損処理による投資有価証券評価損45百万円を計上いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上